



平川市新本庁舎建設設計 実施設計【概要版】

■ 設計趣旨

「平川市新庁舎建設基本方針・基本計画・基本設計」の方針と理念を踏まえ、新しい平川市の象徴となる、まちの活性化拠点をつくります。

「市民と共に、市民が育む、新世代のシティホールを創る」

◇ 3つのコンセプト

1. 平川の風土に根ざし、市民と共に創る「コミュニティ庁舎」

新世代の庁舎、新世代のサービス、未来の市民生活を考え、地域社会を支えてきたコミュニティのように人々の繋がりを生む庁舎を目指します。

2. 日常的に市民が憩い、市民が育む「市民の広場」

平川の風景に囲まれた緩やかなランドスケープをつくり、周辺環境と呼应し、人の回遊をもたらす市民の広場をつくります。

3. ユニバーサル、フレキシブルで、ながく親しまれる高品質な庁舎

免震構造により災害時の安全性に配慮するだけでなく、建物自体を長寿命化し、将来の更新を見据えたフレキシビリティのある計画とします。



平賀駅前通りからの庁舎外観イメージ

新庁舎建設の基本理念

1) 市民が親しみ、交流し、賑わいが生まれる庁舎

- ・市民と行政が協働で課題に当たることができる空間づくり
- ・人が交流し行き交うことで賑わいを創出し、地域経済の活性化に資する庁舎

2) 安心・安全の拠点となる庁舎

- ・災害情報の収集と提供、救援活動や復旧・復興活動のための拠点
- ・耐震性や電気・水道・通信のバックアップ機能の確保、一時避難場所としての活用

3) 人と環境に優しい庁舎

- ・すべての人が安心して便利に使うことができるユニバーサルデザイン
- ・省エネルギーや再生可能エネルギーの活用により環境負荷を低減した庁舎

4) 効率的で機能的な庁舎

- ・市民利用の多い窓口を同一フロアに配置し、スムーズに手続きを済ませられる構成
- ・ICT 技術を活用した効率的な行政サービスの提供



内観イメージ

■ 計画概要

敷地概要

所在地 : 平川市柏木町藤山／平川市本町平野
 敷地面積 : 22,905.29 m²
 用途地域 : 近隣商業地域／第二種住居地域
 防火地域 : 指定なし
 地域地区 : 指定なし
 建ぺい率 : 80% / 60%
 容積率 : 200% / 200%
 日影規制 : 建物高さが10mを超える場合
 規制値の種別(二) 測定水平面4m
 道路斜線 : 1:1.25
 隣地斜線 : 20m + 1:1.25
 北側斜線 : 指定なし
 前面道路 : 北側: 県道 町居平賀停車場線
 市道 本町平野新館線
 西側: 市道 柏木町藤山2号線
 東側: 市道 柏木町藤山3号線
 インフラ施設: 公共下水道・上水道

電気設備概要

受変電設備 : 受電方式: 6.6kV 1回線受電 屋内キュービクル
 一般電灯: 300kVA
 一般動力: 500kVA
 非常保安電灯: 100kVA
 非常保安動力: 240kVA
 非常用発電機設備 : 容量: 315kVA (屋上設置)
 燃料: A 重油
 稼働時間: 120時間 (オイルタンクによる備蓄)
 太陽光発電設備 : 太陽光パネル 30kW
 幹線動力設備 : 動力 三相3線 210V
 電灯 单相3線 210V-105V
 照明設備 : LED 照明器具
 人感センサーおよび集中管理 (共用部)
 自動火災報知設備 : R型受信機
 その他設備 : 構内交換設備、構内情報通信網設備、議場設備、
 情報表示設備、映像音響設備、拡声設備、
 誘導支援設備、テレビ共同受信設備、
 雷保護設備、防災無線設備

空調換気設備概要

熱源設備 : 地下水利用ヒートポンプチラー
 空冷ヒートポンプチラー
 空調設備 : 共用部: 床輻射冷暖房+外気処理機
 及び 執務室: 床吹出し空調 (AHU)+外気処理機
 換気設備 : 会議室: ファンコイルユニット+外気処理機
 BCP対応諸室: 空冷ヒートポンプパッケージエアコン+全熱交換器
 排煙設備 : 自然排煙方式
 中央監視 : 中央監視装置・空調集中リモコン・自動制御設備

給排水衛生設備概要

給水設備 : 上 水: 受水槽+ポンプ加圧給水方式 (上階)
 水道直結方式 (下階)
 雑用水: 雑用水槽+ポンプ加圧給水方式 (※水源は地下水)
 給湯設備 : 小型電気温水器
 排水設備 : 屋内分流方式
 衛生器具 : 節水型衛生器具
 消火設備 : 屋内消火栓設備、消火器

建築概要

[本庁舎棟]

建築面積 : 2,687m²
 延べ面積 : 7,484m²
 (GF: 1,056m² 1F: 2,145m² 2F: 2,112m² 3F: 2,125m² RF: 46m²)
 構造・規模 : 鉄骨造・地上4階建
 基礎形式 : 直接基礎 (基礎免震構造)
 架構形式 : プレース付きラーメン構造
 最高高さ : 22.0m
 軒の高さ : 17.4m
 階 高 : GF: 4.16m 1F: 4.48m 2F: 4.16m 3F: 4.48m RF: 4.75m
 耐 火 : 耐火建築物
 駐車台数 : 287台 (うち、障がい者用駐車場6台)

[車庫棟]

建築面積 : 880m²
 延べ面積 : 1,760m²
 構造・規模 : 鉄骨造・地上2階建
 基礎形式 : 直接基礎 (耐震構造)
 架構形式 : ラーメン構造
 最高高さ : 7.6m
 軒の高さ : 7.3m
 階 高 : 1F: 3.6m 2F: 3.4m
 耐 火 : 準耐火建築物

[全体事業費]

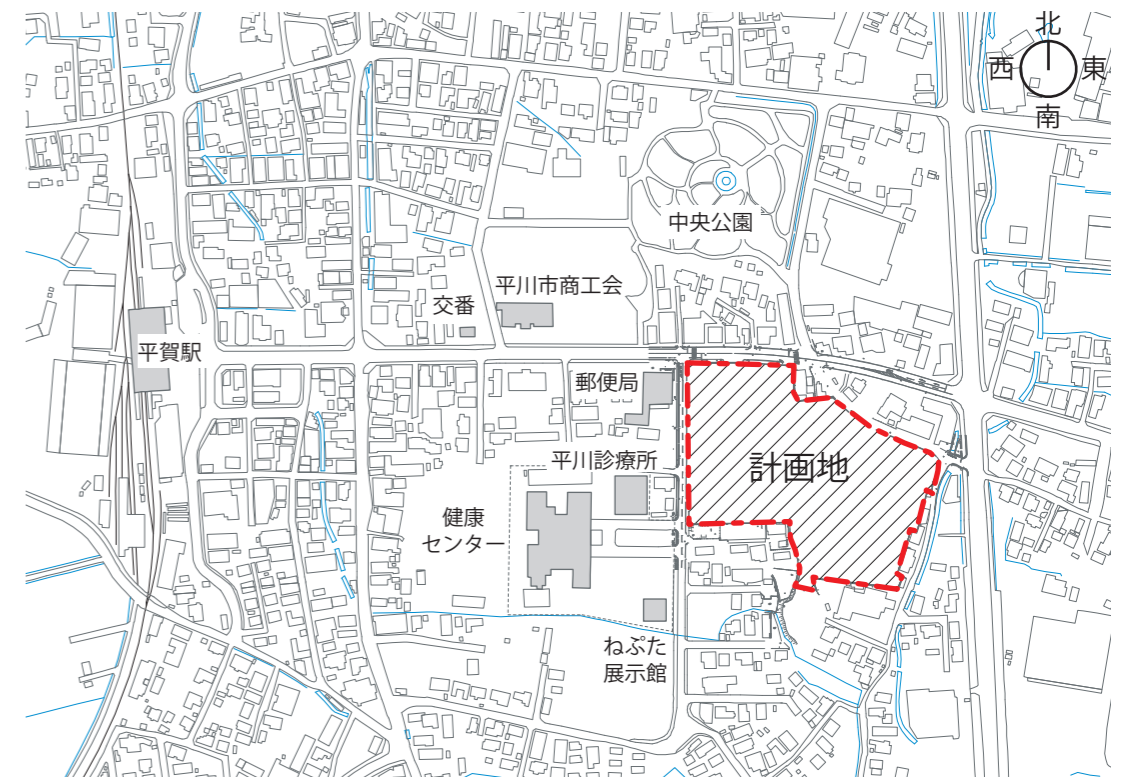
総事業費	うち一般財源 ※1	備考
本体事業費: 約40億1,600万円	約36億1,600万円	(1m ² 当たり約48万3千円)
附帯事業費: 約22億8,100万円	約19億6,400万円	※2
合計: 約62億9,700万円	約55億8,000万円	※3

- ※1 総事業費から国の補助金を控除した金額
- ※2 旧平川診療所・現本庁舎解体、外構、車庫改築及び融雪設備に係る工事費、設計費、備品購入費など
- ※3 財源には旧合併特例事業債(充当率95%、交付税算入率70%)や国の補助金を活用します。
- ※ 事業費変更概要は8P参照

事業スケジュール

令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
確認申請等	新本庁舎建設工事	移転準備	開庁 現本庁舎解体工事	外構工事

令和4年(2022年)秋の開庁を目標としております。



[健康センターについて]

市民利用が少ない建設部建設課と施設建築課を健康センターへ配置します。乳幼児、成人の健診は引き続き健康センターで実施します。

■ 配置計画

不定形で段差のある敷地を一体的に「滑らかに」整備し、平川の風景に囲まれた緩やかな市民の広場をつくります。

まちにひらかれた、新庁舎の前景となる「ねぶた広場」

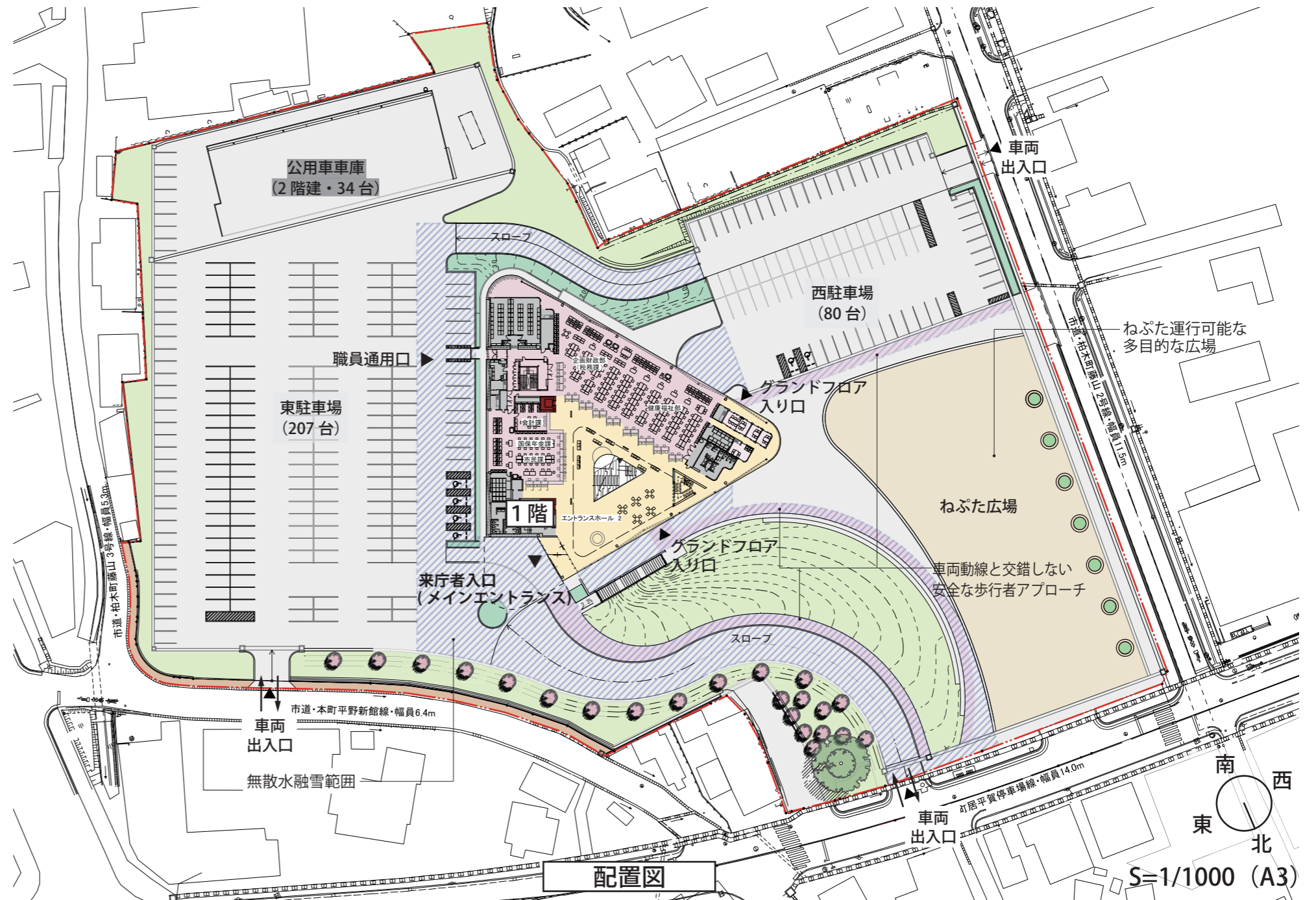
- ・隣接する北側の県道や西側の市道との間には物理的な境界を設けず、歩行者がどこからでも出入りできるボーダーレスな「まちにひらかれた」場所を目指します。
- ・平川市を代表する「ねぶたまつり」から近隣コミュニティの小規模なイベントに至るまで、様々な催しに対応できる汎用性の高い広場をつくります。
- ・メインアプローチ沿いや西側の市道沿いに中高木の樹木を植栽し、緑豊かで潤いのある景観を形成します。

敷地形状を有効に活用した配置計画

- ・敷地中央に三角形平面の新本庁舎を配置し、敷地東側を整形の駐車場として、まとまった駐車台数を確保します。三角形平面をいかして敷地北西と敷地南西に広がりをもたせ、北西側には市民の憩いの場となるねぶた広場を、南西側には市道とレベル差のない駐車場を設けます。

歩車分離を明確にした安全な動線計画

- ・県道側と市道側に車両出入口を設け、車を利用した来庁者の利便性に配慮します。県道側からのメインアプローチは緩やかなスロープとし、庁舎1階へ段差の無いスムーズなアクセスを可能にします。
- ・歩行者動線はねぶた広場沿いとメインアプローチ沿いに確保し、車両動線と交錯することなく庁舎内へアクセスできる計画とします。



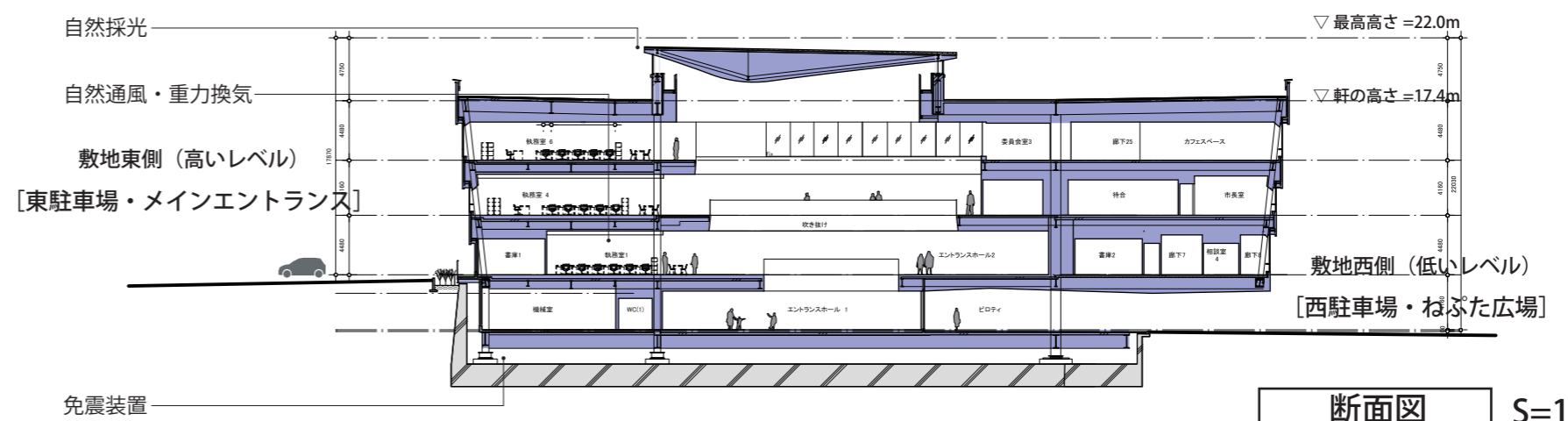
■ 断面計画

敷地の高低差をいかす断面計画

- ・敷地の高低差をいかして2つのアクセスレベルを設けます。前面道路とレベル差の無いグランドフロア、東駐車場と段差の無い1階とし、敷地のどこからでも館内に入りやすい計画とします。

自然エネルギーを最大限に活用した庁舎（7P参照）

- ・建物中央に吹き抜け空間を設け、自然通風や重力換気、自然採光などにより省エネルギー性の高い庁舎とします。
- ・井戸水利用など、自然の恵みを最大限に利用し、環境負荷低減に配慮します。



■ ゾーニング計画・動線計画

みんなに優しい新世代の窓口業務の実現と賑わいを生む市民利用の実現を目指し、機能性と快適性を両立したフレキシブルな計画とします。

グランドフロア

【様々な市民活動を支える、賑わいと交流の拠点】

市民活動の拠点となるエントランスロビー

- ・ねぶた広場や大きな軒下空間と連続するロビー空間を設け、1Fに繋がるひな壇や市民ホールとの一体的な利用も可能な市民活動の拠点をつくります。

多目的な利用が可能な市民ホール

- ・2月～3月は市・県民税の申告相談、選挙期間中は期日前投票所として活用します。それ以外の期間は日常的に市民に開かれたホールとするため、様々な利用方法を想定し、フレキシブルな使い勝手となるよう配慮します。

1F

【充実した市民サービスを可能にする部署配置】

ワンフロアサービスを実現する平面計画

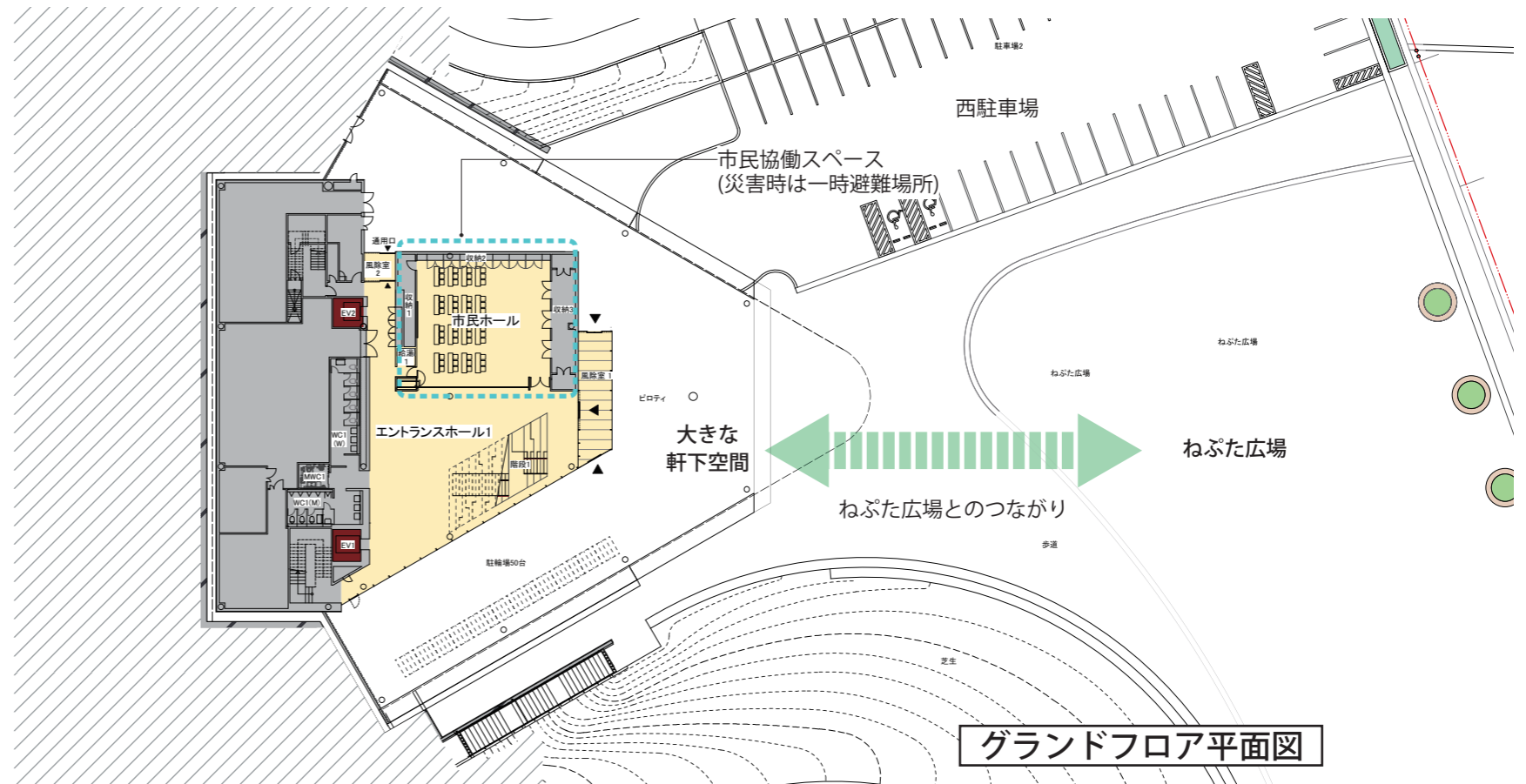
- ・市民利用の多い市民課や国保年金課、会計課、税務課、福祉関連の窓口を1階に集約したワンフロアサービスを実現します。三角形平面を生かして、見通しがよく分かりやすい窓口カウンター配置とします。

市民が自由に集まり賑わいが広がるエントランスホール

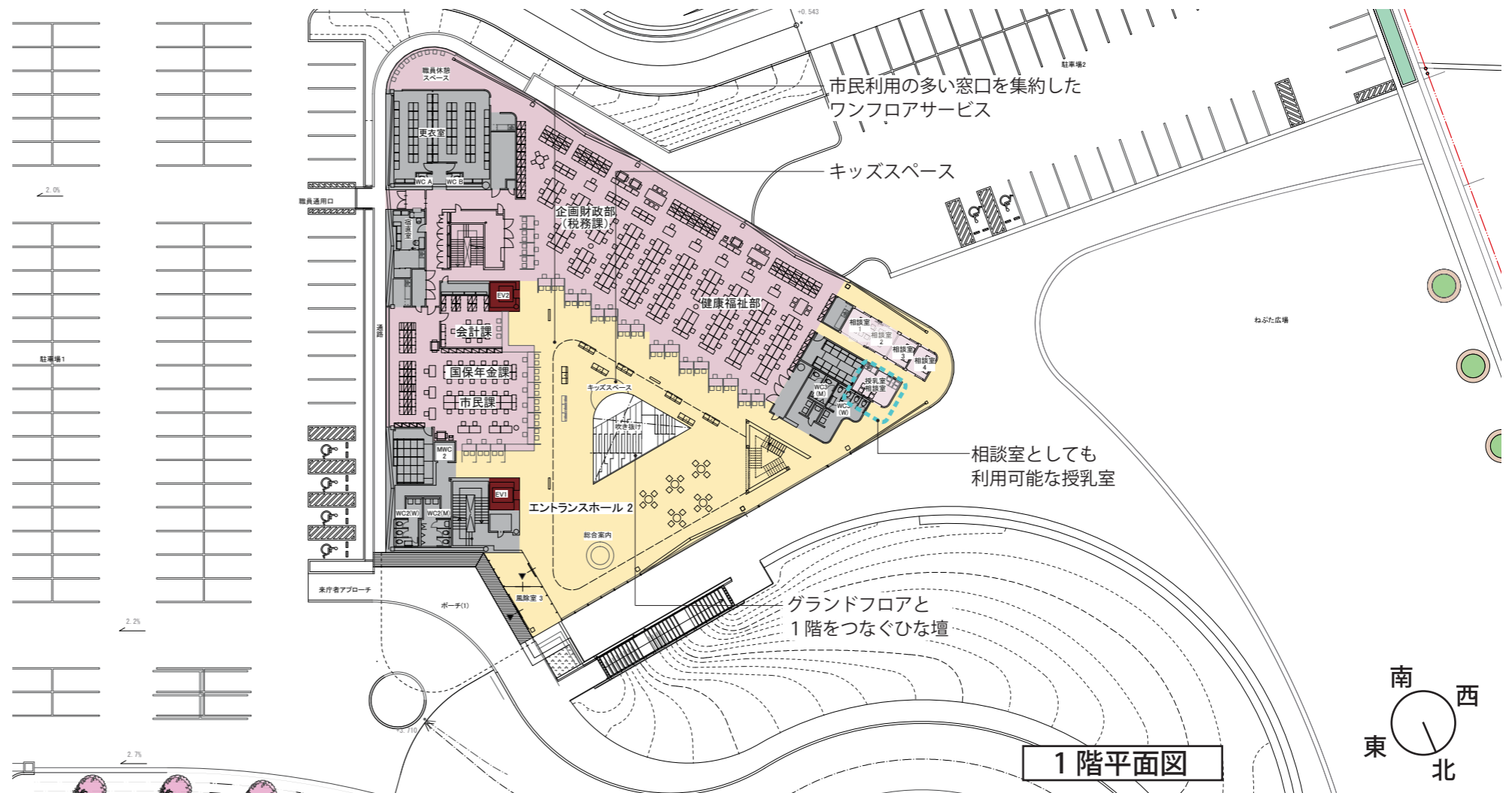
- ・エントランスホールは開放的な三角形の吹き抜け空間とし、様々な情報発信に利用可能な場所とします。市民が思い思いに集まり、館内に賑わいが広がる空間を目指します。

人にやさしい、市民が利用しやすい庁舎

- ・総合案内はエントランスに近い位置に配置し、各窓口や市民利用スペースへのスムーズな案内を可能にします。
- ・初めて庁舎を訪れた人にも分かりやすいサイン計画とします。
- ・各課のサービス内容にあわせてハイカウンターやローカウンターを計画し、高齢者や車いすの方の利用にも配慮します。
- ・プライバシーに配慮した相談室を複数配置し、利用者のニーズに沿った計画とします。
- ・子どもから高齢者まで誰もが快適に利用できる多目的トイレを各階に設置、子育て世代の方に対し、子どもを見守るためのキッズスペースや授乳室を整備します。
- ・来庁者用のエレベーターを2基設置し、各階へスムーズに移動できるようにします。また、エレベーター付近に階段を配置し、分かりやすい動線計画とします。



グランドフロア平面図



1階平面図

S=1/600 (A3)